

ろう重複障害者・ろうあ高齢者福祉を支援する

# チャリティイベント



講師 藤木和子氏

第一部 講演 藤木 和子氏

「旧優生保護法と家族」

～被害者・家族の声を 未来を変える力に～

弁護士・専門は家族関係、優生保護法被害弁護団  
聞こえないきょうだいをもつSODAソーダの会代表  
聞こえない弟と一緒に育つ

第二部 上映会 澤 則雄氏 (監督)

「生きるのに理由はいるの？」

津久井やまゆり園事件が

問いかけたのは・・・

(日本語字幕あり)

会場が変わりました。  
お間違いのないようにお越しください。  
(変更後:エル・おおさか)

2021年

4月24日(土) 12:00～14:50  
(開場 11:30)

※ コロナ感染防止のため、受付で検温・消毒を実施します。混雑が予想されますので時間に余裕をもってお越しください。

参加協力券

大人 2,000円 (当日 2,500円)

小人(小学生まで)、なかま 1,000円 (当日 1,500円)

会場

エル・おおさか(大阪府立労働センター) **変更**

〒540-0031 大阪府中央区北浜東 3-14 (地図は裏面参照)

社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会

# 生きるのに理由はいるの？

「津久井やまゆり園事件」が問いかけたものは...

2016年7月に起きた「津久井やまゆり園」事件、障害者の大量殺傷事件を追ったドキュメンタリー映画です。被告人は何故犯行に至ったのか？の解明と、それとは別にこの事件が示唆した日本社会の問題にも向き合っていかなければと思います。被告人だけではなく、福祉施設、福祉制度の在り方などをみんなで考えよう。

## 【制作スタッフ】

原案：堀利和

(津久井やまゆり園事件を考え続ける会)

編集・音効：諸橋一男

作画：鵜澤夕希子

ナレーション：

小野崎佳 佐久田脩 松原芳子

永田亮子 慶星

企画・制作：澤則雄

製作：津久井やまゆり園事件を映画化する製作集団

2019年制作・ドキュメンタリー映画(75分)

1987年に「なかまの里をつくる会」が誕生してから約30年。多くの方々の支援で「なかまの里」「あすくの里」「あいらぶ工房」「ほくほく」「なんなん」の5つの施設が実現しました。法人後援会は1994年4月、なかまの里が開所した年に誕生しました。

法人後援会はその5つの施設を運営する社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会を支援し、現在の施設のなかまたちだけでなく、在宅になっているろう重複障害者、ろうあ高齢者を含む、すべての聴覚障害者の福祉が前進するように願って活動しています。わたしたちは、ようやくできた施設が、なかまや家族、職員が生き生きと暮らし、働ける施設であるように願っています。しかし、今や施設運営さえも経済の混乱や福祉後退の影響を強く受け、施設にとっても、なかまにとっても大変厳しい状況です。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で、法人後援会も思うように活動ができず十分に法人を支えることができません。このような困難に打ち勝つためにも、一人でも多くの方々のご理解・ご協力が必要です。



なかまの里 (1994年開所)



あすくの里 (2005年開所)

<泉州聴覚障害者センターなんなん>  
2020年4月1日 貝塚市に開所

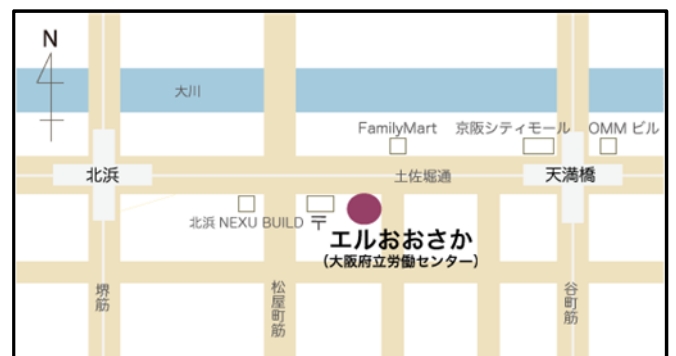


あいらぶ工房 (2007年開所)



ほくほく (2015年開所)

**チャリティーイベントに参加いただくと同時に、法人後援会会員の継続・入会もよろしくお願ひします。**



- Osaka Metro谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」より西へ300m
- Osaka Metro堺筋線・京阪電鉄「北浜駅」より東へ500m

お問い合わせ先・参加協力券申込先

社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会事務局

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番 TEL 072-959-2324 FAX 072-959-2632